



# 株式会社菅原組

社内報

vol. 30

2022年3月号



工事本部 工事部 係長

# 小平 智基

今回は工事部係長、小平さんをご紹介します。建設業のキャリアが長い小平さんの「良い物を作る」という強い思いと、こだわりをご覧ください。

## 入社のきっかけ

以前は秋田で、10年ほど別の会社で働いていました。しかし、地元の北斗市に戻りたいと思い退職し、平成17年に中途採用で入社しました。建設業が不景気の時期でしたが、菅原組で人員の募集があり、採用していただきました。会社の雰囲気アットホームであったことが、入社を決め手です。

## 業務内容

現場の施工管理全般が業務です。主に作業工程の管理や、計画、発注者対応を行っています。他には資材の手配、測量、工事写

真撮影などを行うこともあり、現場ごとに業務内容は違いますが、決められた期間内に全ての業務が終わるよう計画をしています。

## 心がけていること

防波堤などを作るために生コンクリートを使いますが、コンクリートが固まって型枠を外したとき、表面が滑らかになるように一番気をつけています。コンクリート内の気泡を取り除くバイブレーターに加減が難しく、間違えると表面に凹凸ができません。多くは綺麗に仕上がりますが、稀に目立つほど凹凸が出ることもあるので、作業過程をしっかり見て、協力しながら業務を進めることを心がけています。

## 今後の目標

お客様にきちんとした製品をお渡しする、ということが一番の

目標であり、私達がやらなければならぬことです。現場ごとにたくさんの方に協力していただきながら、日々作業をしています。多くの方と仕事をするうえでは、皆さんとコミュニケーションをしっかりととり、全員の目標を「良い物を作る」という方向へ合わせていくことが重要です。これからもより良い物を作っていくために、作業員の方全員と協力しながら業務を行っていきたいと思います。



# CHECK! 現場レポート

## 白糠地区漁港施設機能強化工事

人々の安全な暮らしのため、雨の日も風の日も現場で奮闘している方々があります。今回は、第十すがわら丸で船長を務める川合さんにお話を伺いました。\*



**現場名** 白糠地区漁港施設機能強化工事

**概要** 青森県白糠地区の古くなった岸壁を広くする工事です。漁港施設を安全に利用できるようにするため、海底の掘削作業、海底ブロックの撤去作業、捨石投入、型枠設置などを行います。雪と季節風の影響で吹雪くことも多い地域です。

**着工日** 令和3年12月27日

**メンバー** 乗組員6名、ダイバー2名、元請けの方2名の計10名です。

**完成予定日** 令和4年3月22日



第十すがわら丸 船長  
かわい ひろや  
川合 裕也さん

## 大変だったこと

ケガをしないよう、作業中は常に気を張って取り組まなくてはいけなかったことです。例えば海底ブロック撤去の際は、ワイヤーの切れた素線が手に刺さらないよう、手元に細心の注意を払って作業をしなくてはなりません。さらに介錯ロープを使って型枠を設置する際は、吹雪に加えて船も揺れる中、吊り荷が回ってしまわないよう一切気を抜かず、クレーンの運転手と声をかけ合いながら進める必要があります。また、今回の現場は地元から離れた場所だったため、1か月近く家族とは会えず慣れない環境で作業をしていました。工事が終わったときは「やっと終わったー!」と皆で喜びを分かち合い、達成感はひとしおでした。誰一人ケガすることなく無事帰宅することができ、メンバーには感謝しています。またメンバーが留守の間、家庭を守ってくれていた家族の方々にも心から感謝しています。



## 作業にあたり気をつけているポイント

メンバー同士のコミュニケーションをしっかりとることです。今回の現場は寒いのはもちろんですが、足元が非常に滑りやすく常に危険と隣り合わせの現場でした。そのような中で、作業を安全に円滑に進めるためには、ダイバーの方や元請けの方を含めたメンバー全員で密にコミュニケーションをとることが不可欠なのです。作業中の声かけはもちろんですが、休憩時間に趣味や家族のことなどの、プライベートな話を積極的にするようにして交流を深めるようにしていました。



## 社員の皆様へのメッセージ

人は「できるかできないか」ではなく「やるかやらないか」を行動基準にすることで、成長に向けて前向きに進めるようになります。私もこのことをモットーに今後も一生懸命取り組んでいきますので、一緒に頑張りましょう!

## 船名の由来

菅 **S**UGA、原 **W**ARA、組 **G**UMIの  
頭文字から取りました。



## 船体について

ヤマハ製33ft(約10m)のFRPボート形状に260PSの機関を搭載し、最高速度25nt(46.3km/h)と高速走行が可能になっております。最大搭載人員は12名、装備はGPSプロッター、魚探、レーダー、3点リモコン、洋式トイレも備え付けされています。



# 交通船

# 「SWG」

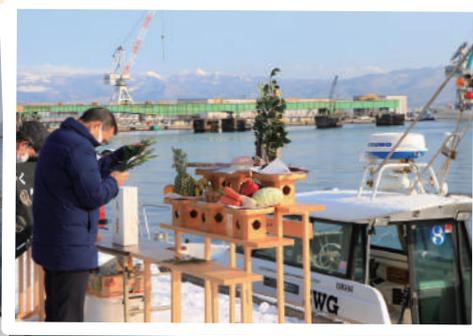
この度、当社に交通船「SWG」が導入されました。

## コメント

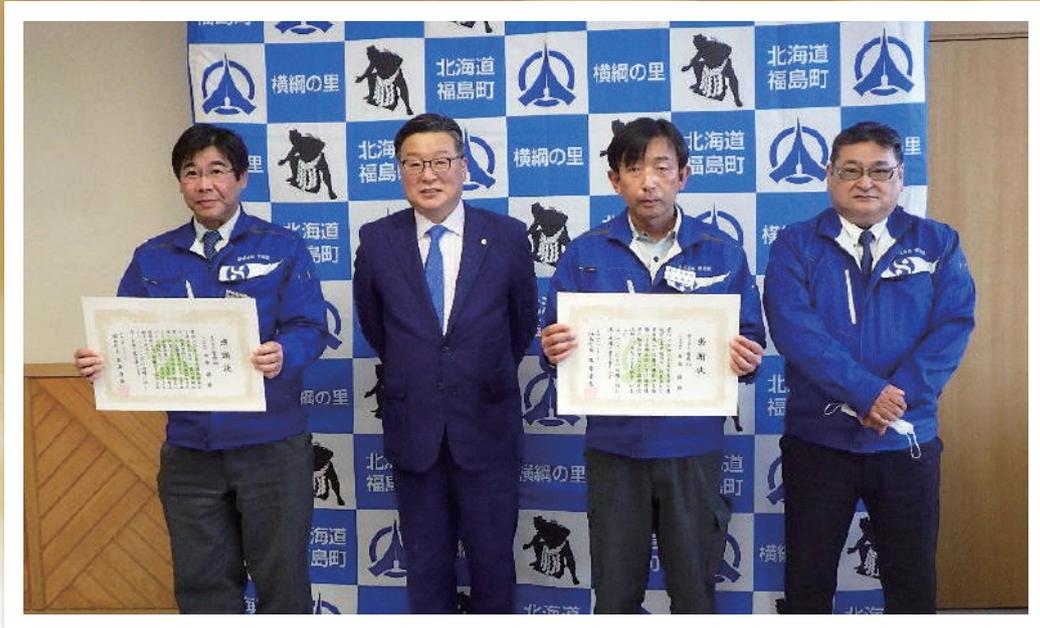
今後の用途としては沖合作業の安全パトロールや、深淺測量、離島への交通船や物資運搬、インターンシップ学生の函館港周回、そして休日には社内リクリエーションで釣りや、イルカ・オットセイウォッチング、港内での花火鑑賞等、様々な用途に活躍することと思います。



穏やかな天气に恵まれた2月14日(月)に交通船SWGの安全祈願を執り行いました。



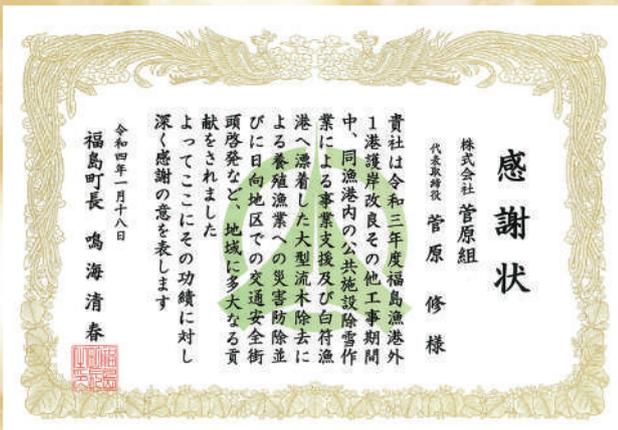
# 福島町より表彰状をいただきました!



福島作業所 澤谷 高広さん

吉岡作業所 中嶋 憲知さん

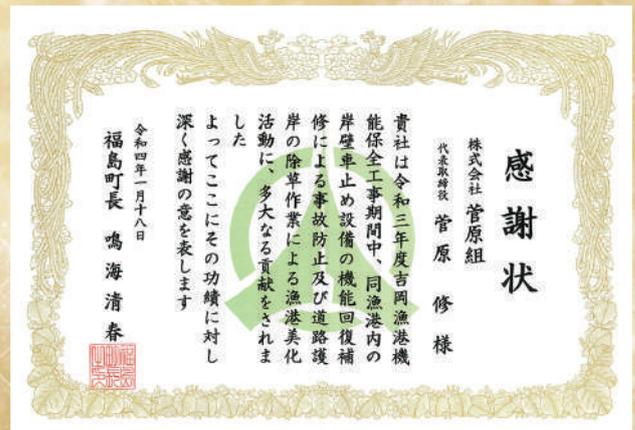
松前支店長 泉 等さん



福島漁港内の除雪事業支援や流木除去による養殖漁業への災害防除など地域への貢献が評価されました。

## 福島作業所 澤谷 高広さんより

この度、福島町から感謝状を頂き大変光栄に思います。私達は地域とのコミュニケーションを大事にしながら工事を進めています。「菅原組で良かった!」「また来たか!」と声を掛けられるとこの町に貢献したいと意欲が沸き、感謝状を頂く結果に繋がりました。これからも地域一体となり工事をおこなっていきたいと思います。



吉岡漁港内の事故防止及び漁港美化活動への貢献が評価されました。

## 吉岡作業所 中嶋 憲知さんより

小さいことながら、工事関係者でボランティア活動をしたことで、福島町に貢献が出来て良かったと思います。今後も人とのつながりを大事にしていきます。

# 第十八すがわら号乗組員の藤田忠夫さんが 3月31日でご退職されます

長い間、本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。  
健康に留意され、益々ご活躍されることをお祈りいたします。

(職員一同より)



平沼船団長とツーショット

## 社長から藤田さんへメッセージ

彼と私とは、年齢も近く、立場は違っても直営作業班時代からものづくりの現場で一緒に戦ってきた仲間でした。永い間、本当にご苦労様、そしてありがとうございました。

一緒に酒を飲んでいる時の可愛いおじさんのままで居て下さい。退職してもファミリーの一員ですから、たまには、会社で顔を出して、私達を叱咤激励して下さい。残りの人生、楽しく過ごすことを祈願しております。

社長



工務部第十八すがわら号  
くどう こうき  
**工藤 興起さん**

◎どのような家庭を築きたいですか？

これからもお互いに良い意味で必要な空気のように思える関係を続け、朝ご飯の玉子焼きに幸せを感じられるようなステキな家庭を築きたいと思います。

HAPPY WEDDING

菅原社長よりお祝い金贈呈の様子



# 結婚報告 すがわらファミリーが増えました

会社から結婚お祝い金の贈呈がありました。

工務部第七すがわら号  
きむら やすひろ  
**木村 靖宏さん**

菅原社長よりお祝い金贈呈の様子



◎どのような家庭を築きたいですか？

家族全員、健康第一でより良い家庭を築きます。

おめでとうございます。  
末永くお幸せに！

## HAPPY BIRTHDAY TO YOU!

4月生まれの皆さんをご紹介します。

4/3 工事本部  
工事部員  
まつだ なおと  
**松田 直斗さん**

4/12 管理本部  
主任  
かのう おさむ  
**叶野 修さん**

4/13 管理本部  
しらゆり船長  
みやざき きよし  
**宮崎 清志さん**